

- 12) 燃料
レース中に給油できる燃料は無制限
※サーキット場内ガソリンスタンドでも購入可能
- 13) ピットイン
・ピットロードの制限速度は60 km/hとする
・ピット作業は必ず車両が停止してから行う
- ①義務ピットイン
義務回数消化のピットイン時間は、4分以上とする
※PIT入口からPIT出口までの所要時間
義務ピットインは、給油、マシン交代、ドライバー交代の全ての作業が可能
ピットインの義務回数は、9) で定めた回数とする
- ②他のピットイン
・ドライバー交代のみ行う場合は、必ず1分以上のピットストップを行う事
・MCクラスにて、義務ピット以外に車両を交代させる場合は、必ず1分以上の停止を行う事（その際の計測器は、正確に取付を行う事）
- ③ドライバー連続運転時間
1名のドライバー連続運転時間は45分以内とする
※運転時間は、PIT出口（もしくはスタート）からPIT入口までの時間
- ④給油作業
・給油時は必ずエンジンを停止させる事
・給油は必ず、ガソリン専用携行缶を使用する事
※場内ガソリンスタンドにて直接給油も可能
・消火器とガソリン携行缶は、各チームで用意する事
・給油作業時は、義務ピット以外でも、必ず4分以上の停止を行う事
・一度に給油出来る量は、制限無し
・給油中は、消火器を持った消化要員を、給油口に消火器のノズルを向けた状態で待機させる事
・給油者と消化要員は、フルフェイスヘルメット、もしくは防火マスク等に加え、肌の露出しない服装（難燃性の長袖、長ズボン）を着用させる事
・36L（10ガロン以上）の安全タンク装着車両は、義務ピット回数にプラス1回加算する。

【義務ピット回数表】

5時間	1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス
EX	4回	4回	5回	5回	6回
MC	5回	5回	6回	6回	7回
SV	4回	4回	5回	5回	

- 14) ペナルティー
・JAFの公認競技会規則に基づいた判定を行います。違反行為が発見された場合はペナルティーが課せられます。またレース中、もしくはレース終了後に2名以上の参加者より、イエロー区間での追越し等の危険行為に関して報告を受けた場合、協議の上ペナルティーを課す場合がある。
・ペナルティーを課せられたドライバーは必ず従わなければならない
・走行中ペナルティーにてピットインする場合は、作業等を一切行っはならない。
※ペナルティー時のピットインは、義務ピット回数の消化とみなされない
- 主な違反例：イエローシグナル区間での追越し
PITロードでの速度超過
コースイン時のホワイトラインカット
運転席側の窓、全閉無視
セーフティーカー解除時の追越し
- 主な罰則例：ドライブスルー
ペナルティーストップ（10秒～60秒）
周回数減算
失格
- あくまでも安全に走行を行って頂く為の事ですので、ご理解、ご協力をお願い致します。

- 15) セーフティーカー
車両回収等でセーフティーカー（以下SCとする）が、コースインする可能性があるが、その際の前後車両の追越しは絶対に禁止とする
SC解除後もコントロールラインを通過するまでは追越し禁止とする
なおSC先導中のピットイン、ピットアウトは、自由とするが、オフィシャルの指示に従いコースインする事
- 16) 赤旗
コース上において走行が危険であると判断した場合、全ポストにてレッドシグナル及びレッドフラッグが表示され、走行は一時中断とされる
※走行車両は定められた赤旗ラインにて停車する事
※決勝レース中、赤旗提示時点で、ピットイン中のチームは作業を中断する事
※危険箇所が復旧した後流れる走行再開のアナウンスに従う事
- 17) 参加者の装備
①ドライバーは、肌が露出しない服装にしなければならない。また運転中以外でも、作業時には必ず装着しなければならない。（耐火に優れた難燃性のドライビングスーツやグローブ、シューズの着用を強く推奨する）
②ヘルメットはフルフェイスタイプを義務付ける。もしくはジェットタイプを使用する場合は、耐火マスクの装着を義務付ける。
③万が一に備え、各自にて傷害保険等への加入を頂く事をお勧め致します。
- 18) スタート方法
5時間耐久：予選結果に基づいたグリッド整列を行い、ローリングスタートを原則とするが、やむを得ず変更となる場合がある
90分耐久：抽選結果順にピットロードに整列し、等間隔にてピットスタート
- 19) 賞典
5時間耐久：総合表彰のみ上位、1位～6位と飛び賞
90分耐久：1位～3位

